

学習指導案（教科：地歴公民科）

1 授業内容

科目：世界史 B

単元：3 西ヨーロッパ世界の成熟

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標 西ヨーロッパ世界の成熟について、資料の読解や分析を通して考察し、多面的に理解を深め、体系的な知識を身に付ける。

(2) 本時の目標 十字軍について資料の読解等を通して多面的に理解する。

(3) 本時の評価基準

関心・意欲・態度；西ヨーロッパ世界への関心を高めている。複数の立場から歴史を捉えようとしている。

思考・判断・表現；複数の資料を組み合わせて学習課題を解決し、見解をまとめることができる。

資料活用の技能；資料を適切に読みとることができる。

知識・理解；十字軍について、目的・経過・結果を体系的に理解し、知識を身に付けている。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・評価
導入 (5分)	○9・11 テロ後のブッシュ演説をとりあげ、それが問題視されたことを伝える。 ・ ○イスラーム世界では「赤十字」ではなく、「赤新月」のマークが使用されることを伝える。	教員の説明を聞く。投影されたスライドを見る。 ・	この時間の学習課題が「十字軍とは何か」であり、それを多面的に検討する必要があることを共有させる。

<p>展開 (40分)</p>	<p>○「ウルバヌス2世の演説」から、当初の十字軍の目的を理解させる。(ICT活用)(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ <p>○第1回～7回までの十字軍の経緯と結果について説明する。(10分)</p> <p>○「イスラーム教徒側の資料」を示し、発問しながら解読する。(5分)</p> <p>○「ユダヤ教徒側の資料」を示し、発問しながら解読する。(5分)</p>	<p>・「ウルバヌス2世の演説」を読み、当初の十字軍の目的を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合った結果を提出させる。(ICT活用) ・各グループの提出した内容についてディスカッションし、まとめる。(ICT活用) ・資料集を見ながら聞く。 ・授業プリントに書き込みながら聞く。 ・資料を見て教員の発問に答える中で、資料の内容を正確に捉える。 	<p>・結果の根拠も示させる。</p> <p>・資料を多面的に検討する必要性に気づかせる。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○課題「十字軍の結果について100字以内で記述せよ。なお、その際、多様な立場を意識すること。」を出し、提出方法や期限を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回授業のテーマ「十字軍の中世ヨーロッパへの影響」を示す。 	<p>・説明を聞き、理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	

(5)ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開の最初の部分の「ウルバヌス2世の演説」を協働学習によって読解させる部分である。手順としては、

①教員は、資料のファイルと課題を生徒全員に配布しておく。《ClassPad.netの生徒配布機能を活用》

②教員は、資料読解の予備知識のためにEx-wordの世界史用語集から、「十字軍」「イエルサレム」「セルジューク朝」「ウルバヌス2世」「クレルモン宗教会議」の項目をふせんで生徒全員に配布しておく。《ClassPad.netのふせんと生徒配布機能を活用》

……①と②を配布することで予習を促し、生徒が協働学習に積極的に参加できるようにする。そのことにより、協働学習が円滑に、かつ効果的に実践できる。

③教員は、②について若干の解説を加えながら説明する。

④グループでの話し合いとまとめ

⑤グループの代表は回答を提出する。《ClassPad.netの課題提出機能を活用》

⑥すべてのグループの回答を全体で確認しながら、クラスとして最適解を見つける。

《ClassPad.netの生徒配布機能を活用して、回答を共有する》……ディスカッションを効率的に行える。